

2011年(平成23年)8月6日 発行
発行所: 浦添グリーンハイツ自治会
発行: 自治会長 松本 淳
電話/FAX: 874-5977

防犯灯不良の連絡先
環境防犯部長
山里 一裕
877-7067

「夏祭り盆踊の夕べ」のご案内

自治会主催「夏祭り盆踊の夕べ」を下記のとおり開催します。
盛夏の夜の一時、多くの会員の皆様が集い、親睦を深めましょう。

★日時: 8月20日(土) 午後7時～9時30分

★場所: 浦添グリーンハイツ公民館・広場

★余興(予定): 前田エイサー・子ども会エイサー・婦人会、
若竹会、子ども会、盆踊り・JICA 沖縄国際セ
ンター・ハワイアンフラ、手話ダンス



★出店: 今年は、自治会が出店を開きます。

○飲み物・かき氷は無料。○焼き鳥・フライ
ドチキン・カップ沖縄そば・カレー・ポッ
プコーンは有料。ご利用ください。

◎今年はやぐらを広場中央に配置し、観覧場所は班毎ではなく、
ブルーシートの場所と公民館ホールを使っていただきます。

☆前田エイサーと子ども会の道ジュネーを夕方6時ごろから行
う予定です。メイン通りは、夕方6時～7時の間、通行止めに
なりますので、ご協力をお願いします。

★ 新企画『お楽しみ抽選会』[自治会会員対象]

自治会通信と一緒に配付された『お楽しみ抽選会参加券』に
班名とお名前を記入して、当日受付(受付箱)に出してくだ
さい。9時20分ごろ(予定)抽選会を行い、すてきな賞品
を差し上げます。抽選時に会場に居合わせない場合は無効に
なりますのでご了承ください。当日は、最後まで、ごゆっく
りとお楽しみください。

※ 当日雨天の場合は公民館ホールで行います。

まちづくり委員会より〈住民説明会のお知らせ〉

浦添市のまちづくり事業の一環である、平成23年度『花と
緑のまちづくりフェスタ』に当自治会が応募して、市のまちづく
り支援事業に採択されたことは、自治会通信7月号でもトップ記
事で「慶祝」の意味を込めてお知らせしたところです。

本件につきましては、下記日程で開催される住民説明会におい
て、十分ご説明申し上げるつもりではありますが、「浦添グリーン
ハイツ大通りおめかしプラン」と銘打って応募した当自治会の計
画の内容は、およそ次のとおりです。

「37年前の宅地造成の際に、現在のファミリーマートから公
民館までの約300メートルの片側歩道にクロキが30本植栽
されていたが、長い年月の間にクロキ並木の街路樹は、ある所は
枯渇してなくなってしまっていたり、ある所は別の木にとって代
わったりという具合に、現在では半分に減ってしまっている。こ
ういう虫食いの状態にある街路の景観は、決して美しいとは言え
ない。そこで今一度クロキの街路樹をそろえてきれいな並木にす
る。しかも樹幹は緑と赤のミニサンダンカで飾り、さらにクロキ
の小枝には花もちのいいランを着生させ、文字どおり『花と緑の
美しい街路景観』を創り出す」こういう構想です。一本一本のク
ロキが下も上もおめかしをしたメインストリート300mのプロ
ムナード。さぞ、美しい街並みに生まれ変わることでしょう。

メインストリートの美観形成は、私たち自治会がこれから始め
ようとしているまちづくり計画の第一歩です。しかし、この計画
を絵に描いた餅にしないで、きちんと実現するためには全住民の
共通理解と参加協力がどうしても必要です。今回の集いは、そう

放課後こども教室(寺子屋)がスタートしました！

去る定期総会で承認された『地域こども学習支援活動』が、「寺子屋(てらこや)」のネーミングで7月9日にスタートしました。地域自治会で取り組む「放課後こども教室」です。

「地域の子どもたちは地域の人たち皆で育てよう」を合言葉に、地域の子どもたちが将来立派な人に育っていくことを願い、愛情をこめ、手取り足取りで懇切に指導しています。

自治会で始めた寺子屋活動が、家庭学習の習慣づけを手助けする機会になれば幸いです。

「国家百年の大計は教育から」といわれるように、教育の営みはすぐに成果の出る工場製品などとは違って、長い年月をかけて地道な活動を続けた後に、成果が出てくるものです。

この寺子屋に来た子どもたちが、将来、大人になった時、幼児期を振り返って、「あの時、私はあのオバアチャンからこんなことを教わった。それで今日の自分がある」とか「あの寺子屋で、あのオジイチャンから聞いた格言が今の自分の人生訓ともなっている」などと回想して、自分の育ったグリーンハイツをいとおしく思い、この地を古里として大事にしていこうとしましょう。教育の成果というものは、日々の平凡な繰り返しを何世代にもわたって受け継ぐことによって、成果が出てくるという類のものかもしれません。

さて、寺子屋の7月実績は、次のとおりです。実施回数は、木・土の週2回で計7回実施。学習に来た小学生(1年から6年までが対象)は実数にして31人、延べ人数は82人でした。平均1回当たり10数人が参加しています。

指導者は10名で、うち教員経験者は6名です。グリーンハイツ外から2名の教員経験者が応援に来ておられます。実に有り難いことです。感謝に堪えません。しかし、指導者の数はもっと必要です。もう少し多ければローテーションが楽にできるからです。高校生以上の方ならどなたでも結構ですので、学習指導のお手伝いに来てください。週1回か、月1回程度の時間を、地域の将来を担う人材の育成のために奉仕してください。お申し込みは自治会事務所へ。(☎874-5977 月～金の午前中、午後は留守電対応です。)



浦添グリーンズがゲートボール大会で優勝

7月3日うるま市で開かれた県レディース親善ゲートボール大会(県内各地から21チームが参加)において、浦添グリーンズが見事優勝しました。メンバーは、永山登美子、国吉久枝、仲尾久子、宮国昌子、上地明子、新城文子の皆さんです。おめでとうございます。

「第11回まちづくりプラン賞」公開審査に参加して

まちづくり委員会 上地徳一(6班)

標題の公開審査が、平成23年7月9日(土)午後1時から市役所9階講堂で行われた。同賞の応募は、去る6月に締め切られ、「まちづくりプランコース」(浦添市の助成)に14団体、「ミントまちづくり支援コース」(民間都市開発推進機構の助成)に5団体、合計19団体の応募があり、公開審査の対象となった。

公開審査は、これら19団体が発表した内容に関し、まちづくりプラン賞審査委員会(6人の委員で構成)が審査し、公開審査の場で順位や配分額を決めて結果を公表するという仕組み。

応募した団体は、連続参加の常連団体もあれば、初めて挑戦する団体もあり、市の限られた予算額を少しでも多く獲得しようとしのぎを削った。審査委員へのアピールが大事なので、パワーポイントを駆使して視覚に訴えるなど創意工夫を凝らし、どの団体の発表にも迫力があつた。

一方、審査委員も、同賞の趣旨に照らし、どの応募者を選考するかまさに真剣勝負。企画内容に関する各委員の厳しい質問、アドバイスなどが飛び交う。何度も質疑応答が繰り返される中、午後5時過ぎ審査結果の発表があり、審査委員長の総括で幕を閉じた。

「まちづくりプランコース」に限って言えば、助成総額は100万円で、その日の最高額の受賞団体は12万円台、最低額は3万円台だった。受賞したある団体は、「助成額が少額で活動に支障をきたすかもしれないが、頑張るのみ。また挑戦すればいい」と来年に目標を切り換えたことに感銘を受けた。同賞は助成額は少ないけどいい制度だと思う。私たちの自治会も、こういう制度をこれから積極的に活用して、美しい景観の町づくりに役立てたいものである。

※「浦添市まちづくりプラン賞」とは、「浦添の自然・文化を活かし、地域の美しい景観を守り育て、創造するまちづくり活動」であって、「てだこのまち・浦」の実現に寄与すると認められた団体に助成する制度のこと。

健康講演会のお知らせ

テーマ:「禁煙のすすめ」

日時:平成23年8月18日(木)19:00~20:00 参加費無料。

場所:浦添総合病院健診センター(浦添商業高校正門斜向い)

問い合わせ:0120-861-109

犬のフン害 たいへん困っています

飼い主さんのマナーも向上し、だいぶ良くなりましたがまだ、住宅の門前や歩道、道路にフンが放置され、大変迷惑になっています。

◇ 散歩はリードをつけて、フンは必ず持ち帰りましょう！

◇ 屋敷内でもリードをつけ、放し飼いはやめましょう！

ちょっとした隙にとび出して危険です